

給与支払報告 別徴収に係る給与所得者異動届出書

記載例
(特別徴収継続)

個人番号は新しい会社で
記入してください。

		所在地		〒400-0000 山梨県中央市〇〇△△1-2-3										特別徴収義務者 指定番号		宛名番号		1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度				
フリガナ		氏名又は名称		株式会社 〇〇△△□□										担連 当絡 者先		所属		〇〇課〇〇担当		氏名		〇〇 △△				
個人番号 又は法人番号		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3										電話		〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 内線 ()												
給 与 所 得 者	フリガナ		氏名		生年月日		個人番号		受給者番号		1月1日 現在の住所		異動後の 住所		(ア) 特別徴収税額 (年税額)		(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)		異 年 月 日		異 動 の 事 由		異動後の未徴収 税額の徴収方法	
	チュウオウ タロウ		中央 太郎		昭和 62年 1月 1日		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2		※各事業所により付番		山梨県中央市〇〇△△301-1				120,000 円		30,000 円		90,000 円		令和〇 年 8 月 31 日		1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払少額 6. 合併 7. その他 事由・理由		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	
															6 月から		9 月から		令和〇 年		2		1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払少額 6. 合併 7. その他 事由・理由		1. 特別徴収継続	
															8 月まで		5 月まで		8 月		右から 番号を 記入		右から 番号を 記入		2. 一括徴収	
															31 日				31 日		右から 番号を 記入		右から 番号を 記入		3. 普通徴収 (本人納付)	

1. 特別徴収継続の場合

新 し い 勤 務 先	特別徴収義務者 指定番号	※市町村ごとに異なります (新規)										法人番号		9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7										新しい勤務先へは、月割額 10,000円を				
	所在地	〒400-0000 山梨県中央市〇〇△△3-2-1										担当者 連絡先		所属		〇〇課〇〇担当										9 月分 (翌月10日納入期限分) から 徴収し、納入するよう連絡済みです。		
	フリガナ											氏名		氏名		〇〇 △△										受給者番号		
	氏名又は名称	株式会社 □□〇〇△△										電話		電話		〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 内線 ()										納入書の要否 (新規の場合のみ記載)		右から 番号を 記入

2. 一括徴収の場合

理由	8 月末で退職した給与所得者が、9 月から新しい会社で特別徴収継続する場合。		徴収予定額 上記(ウ)と同	
理由	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	120,000 円 (6 月から翌年 5 月分)		※市町村 記入欄 ある
	(イ) 徴収済額	30,000 円 (6 月から 8 月分)		
	(ウ) 未徴収税額	90,000 円 (9 月から翌年 5 月分)		
	↑ 新しい会社で特別徴収			
理由	3. 死亡による退職であるため			

月割額と特別徴収開始月を記入します。
受給者番号が必要な場合は、記入して
ください。
市発行の納入書が必要な場合は「必
要」に○をしてください。

第十八号様式 (用紙日本産業規格 A4) (第十条関係)